

講義シラバス									
科目名	トータルビューティ (ネイル・ハンド・エステ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	伊東 愛弓 (中城 美香)	講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、エステサロンにて勤務。10年目の現在は2サロンの店長を務める。 【資格】認定上級エステティシャン、CIDESCO国際エステティシャン、メイク検定2級、ネイル検定2級、アロマ検定1級、タイ古式セラピスト						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアメイクのみならず、現場に出た際の+αになる予備の美容知識・技術を身につける。									
【学習内容】									
ハンドマッサージ・ネイルケア・ネイルカラーリングの技術を学ぶ。 相モデルで実技を行い、接客スキルやコミュニケーション能力を高める。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ネイル道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】小テスト2点				⑨ (6/19)	【到達目標】小テスト3点			
	<オリエンテーション> 今後の授業内容の確認、自己紹介、道具の確認・名称を覚える。次回に向けファイリング、キューティクルクリーンの内容把握。					<コミュニケーション検定対策授業> 持ち物…コミュニケーションスキルアップ教本 対策過去問Ⅰを理解する			
② (4/24)	【到達目標】小テスト3点				⑩ (6/26)	【到達目標】小テスト3点			
	<セルフ・ケア> ファイリング、キューティクルクリーンを実際に自分の手に施す。爪の構造、名称を覚える。					<コミュニケーション検定対策授業> 持ち物…コミュニケーションスキルアップ教本 対策過去問Ⅱを理解する			
③ (5/8)	【到達目標】小テスト3点				⑪ (7/3)	【到達目標】小テスト3点			
	<相モデル・ケア・ハンドマッサージ> 前回の復習をしながら2人1組になりファイリング、キューティクルクリーン、ハンドマッサージを施術し合う。					<コミュニケーション検定対策授業> 持ち物…コミュニケーションスキルアップ教本 対策過去問Ⅲを理解する			
④ (5/15)	【到達目標】小テスト3点				⑫ (7/10)	【到達目標】小テスト3点			
	<セルフ・カラーリング> 利き手で反対の手にファイリング、キューティクルクリーン、カラーリング(ワンカラー)を施す。ポリッシュオフまで。					<コミュニケーション検定対策授業> 総合問題テスト全80問。※得点不到達者は補講有り			
⑤ (5/22)	【到達目標】小テスト3点				⑬ (7/17)	【到達目標】小テスト2点			
	<相モデル・カラーリング> 前回の復習をしながら2人1組になりファイリング、キューティクルクリーン、カラーリング(ワンカラー)を施術し合う。					<コミュニケーション検定> 全40問。60分。マークシート式。全員合格。合格基準… 正答率80%以上。			
⑥ (5/29)	【到達目標】小テスト3点				⑭ (8/21)	【到達目標】小テスト3点			
	<相モデル・デザイン> 2人1組になりカラーリング、アートを施術し合う。					<ネイルチップデザイン> チップにファイリング、カラーリングを行いペイントアート、 ストーンアートを施す。			
⑦ (6/5)	【到達目標】小テスト3点				⑮ (8/28)	【定期試験】60			
	<相モデル・通し①> 6月12日までの復習・流れの確認後、 お客様役と施術者にわかれファイリング～デザインまで行う。					<ネイルチップデザイン> これまでの学びを活かしファイリング・ベース・カラー・デザイン・ トップまで仕上げる。			
⑧ (6/12)	【到達目標】小テスト3点				【成績評価の方法と基準】				
	<相モデル・通し②> 前回のペアのお客様役と施術者を入れ替え、ファイリング～ デザインまで行う。				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	プロフェッショナルへの道Ⅰ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	吉本 友美	講師 プロフィール	美容師、アイリストを経験後、札幌ベルエポック美容専門学校の国家試験部門(AW、WD)担当、その後、教務部へ現在に至る。						
【授業を通じての到達目標】									
授業を通して就職に対する視野を広げ、HM,FA,BRとトータルの学びを知る。また現場で活躍するプロの授業を見ることで将来を見据える。									
【学習内容】									
就職関係、ゼミ、フォトコン参加									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
					イカムフォトコン				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/18)	【到達目標】学校生活を理解する、将来の目標設定を明確にする				⑨ (6/20)	【到達目標】アシスタントプログラムについて学びを深め現場に出る準備をする			
	・クラス目標設定 ・学校生活について、出席、成績について ・特別授業について ・ITリテラシー					・特別授業(ゼミ)B☆sides様特別授業(来校)			
② (4/25)	【到達目標】行事を確認することでスケジュール管理を出来る様になる。				⑩ (6/27)	就職講座を通し目標を確認する			
	・年間の行事を確認する(行事の写真や動画を見る) ・個人目標設定、就職アンケート ・GW課題					・就職講座(マナー教育) ・就職アンケート ・目標管理シート			
③ (5/9)	【到達目標】GW課題を共有し完成を慶く				⑪ (7/4)	【到達目標】自分の体と向き合い、充実した学生生活を送る			
	・GW課題発表 ・フォトコンについて ・特別授業について					・性教育セミナー(外部講師)			
④ (5/16)	【到達目標】アシスタントプログラムについて理解を深める				⑫ (7/10)	外部のフォトコンに参加しグループでの協力を通しコミュニケーションを取りながら賞も取			
	・特別授業(ゼミ)B☆side様特別授業(オンライン)					・特別授業(ゼミ)			
⑤ (5/23)	【到達目標】席替えをすることでコミュニケーション能力を上げる				⑬ (7/18)	【到達目標】業界を通し感性を磨き将来に繋げる			
	・席替え ・地域清掃について ・就職講座(職種)					・イカムフォトコン ・学園祭準備			
⑥ (5/30)	【到達目標】就職講座を通し目標を確認する				⑭ (8/22)	【到達目標】就職講座を通し目標設定をする			
	・就職講座 ・アシスタントプログラムについて ・就職アンケート ・目標管理シート					・就職講座(キャリア) ・目標管理シート ・就職アンケート			
⑦ (6/6)	【到達目標】地域清掃を通し地域に貢献する				⑮ (8/22)	【定期試験】60を取れるように今までの学びを発揮する			
	・地域清掃					・定期試験			
⑧ (6/13)	【到達目標】業界を通し感性を磨き将来に繋げる				【成績評価の方法と基準】				
	・特別授業(ゼミ)				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	ベーシックメイクⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生		
講師名	松丸亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクサロン経営。テレビ、広告、ブライダル、撮影なども行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアメイクアーティストとして時代の変化や流行に敏感になることでメイクの知識・技術・提案力を身に付け自分自身のセンスを磨く。									
【学習内容】									
基礎をしっかりと身に付けた後、応用技術を学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式・筆記道具・ノート									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 4/19	【到達目標】小テスト2点				⑨ 6/21	【到達目標】小テスト3点			
	メイクの仕上がりを左右する保湿・マッサージが出来るようになる					ブラシ＆ラインを使い綺麗なリップメイクが出来るようになる			
② 4/26	【到達目標】小テスト2点				⑩ 6/28	【到達目標】小テスト4点			
	ベースメイクアイテムを使い、肌の質感・立体感・悩みをカバーしたベースメイクが出来るようになる					ヘアセット岸田先生とのコラボ授業			
③ 5/10	【到達目標】小テスト2点				⑪ 7/5	【到達目標】小テスト4点			
	ベースメイクアイテムを使い、肌の質感・立体感・悩みをカバーしたベースメイクが出来るようになる					ヘアセット岸田先生とのコラボ授業			
④ 5/17	【到達目標】小テスト2点				⑫ 7/12	【到達目標】小テスト3点			
	アイシャドウ・ビューラー・マスカラ・アイラインの基本的な使い方					クール顔メイクの理論を知りメイクが出来るようになる			
⑤ 5/24	【到達目標】小テスト2点				⑬ 7/19	【到達目標】小テスト3点			
	アイメイク～濃い色のアイシャドウを使ってグラデーションが綺麗に出来るようになる＆アイラインが綺麗に引けるようになる					キュート顔のメイクの理論を知りメイクが出来るようになる。			
⑥ 5/31	【到達目標】小テスト3点				⑭ 8/23	【到達目標】小テスト3点			
	眉メイク～アイテムを使い分けて綺麗な眉毛が描けるようになる					定期試験対策授業			
⑦ 6/7	【到達目標】小テスト4点				⑮ 8/30	【定期試験】60			
	眉メイク～ソフトな印象の眉ときりっとした印象の眉の違いを知り描けるようになる					テーマに沿ったメイクを時間内で仕上げる			
⑧ 6/14	【到達目標】小テスト3点				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	骨格によるチークののせ方＆ハイライト								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物は自己管理不十分とみなし、小テストよりマイナスとする。また今後社会で必要とされるコミュニケーション力を身に付ける為、相モデルへの声かけを徹底する。									

講義シラバス									
科目名	ベーシックヘアⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	岸田 知紘	講師 プロフィール	札幌ビューティーメイク専門学校卒業。 免許取得。卒業後、(株)田谷に入社。ヘアセット歴16年。 フリーランスのヘアメイク、講師として活動の幅を広げています。						
【授業を通じての到達目標】									
ピンの使い方、一束の仕方など、ヘアセットの基礎を学ぶ。シニヨン・夜会巻き・面のスタイルや編み込みなどの習得。									
【学習内容】									
基礎を知る。技術は反復により一層の理解を深める。【出来る】【わかる】が自信に繋がり向上心へと繋がる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
セットウィッグ・クラブ・ホットカーラー・ロールブラシ・タッカー・ピン類 黒ゴム・ゴムを切るハサミ・ハードスプレー・ドライヤー・水スプレー ヘアアイロン・テールコーム									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16)	【到達目標】 【道具の名前を知り、デモンストレーションで使い方を見る】 自己紹介・デモンストレーション・道具の説明・道具の使い方・ブ ロッキング・一束				⑨ (6/18)	【到達目標】 【逆毛の意味を理解し、やり方がわかるようになる】 (小テスト3点) 全頭巻き(相モデル)・逆毛の理論・やり方・実践・逆毛を 使ったスタイル			
② (4/23)	【到達目標】 【ホットカーラーの理論とコームの使い方がわかる】 (小テスト3点) コームの使い方・ホットカーラーの説明・巻き方と実践 一束(相モデル)				⑩ (6/27)	【メイクとコラボ授業】のための練習日(小テスト3点) 1年生合同授業(1.2コマ) チーム決め コンセプトを決める			
③ (5/7)	【到達目標】 【全頭巻きの配置がわかる。ピン打ちの理論が分かる】 (小テスト3点) 全頭巻き・ピンの説明・ピンの理論・実践				⑪ (7/2)	【到達目標】 【メイクとのコラボ授業】 (小テスト4点) テーマに合ったヘアメイクをチームで完成させる			
④ (5/14)	【到達目標】 【ピン打ち・シニヨンが出来るようになる。】(小テスト3点) 全頭巻き・シニヨンを作る・オニピンの説明、使い方・シニ ヨンの応用1				⑫ (7/9)	【夜会巻きの作り方がわかるようになる】(小テスト3点) 夜会巻きの歴史・デモンストレーション・すき毛の説明・扱 い方・実践			
⑤ (5/21)	【ゴム・ピンでスタイルが出来るようになる】(小テスト3点) 全頭巻き・ピン打ち・シニヨン応用2				⑬ (7/16)	定期試験練習 (小テスト3点)			
⑥ (5/28)	【到達目標】 【ヘアアイロンの使い方巻き方が理解できるようになる。】 (小テスト3点) 全頭巻き・ヘアアイロンの説明、実践・簡単なブロー・ピン 打ち				⑭ (8/20)	【到達目標】 (小テスト3) 定期試験練習 ウィッグの洗い方			
⑦ (6/4)	【到達目標】 【ヘアアイロンが巻けるようになる】 (小テスト3点) 全頭巻き・ヘアアイロン巻き・様々な巻き方・簡単なブロー				⑮ (8/27)	【定期試験】 定期試験60点			
⑧ (6/11)	【到達目標】 【基本の編み込みが出来るようになる】(小テスト3点) 全頭巻き(人頭相モデル)・様々な編み込み				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
名札・必須道具の忘れ物は小テストよりマイナスとする									

講義シラバス								
科目名	ベーシックファッションⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数 30 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生	
講師名	畑 育実	講師 プロフィール	有限会社ダディックファッション代表。主にCM、タレントなどのスタイリスト&ヘアメイク&ファッションデザイナーとして活動し、美の総合プロデュースを行うイメージカウンセラーでもある					
【授業を通じての到達目標】								
ファッション業界におけるヘアメイクとファッションのつながりを理解し、習得したファッションの基礎知識をトータルバランスへ活用出来るようになる。プロフェッショナルな業界人を目指しモチベーションを高めることが出来る								
【学習内容】								
ファッションの基礎知識(トレンド感性、アイテム名称、シルエットライン、ディティールなど)の基本を習得し、ヘア、ネイル、ファッションとトータルバランスの活用方法をグループワークで協調性をもって取り組む								
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】			
					GPワーク内での個人役割の準備			
日時	授業計画			日時	授業計画			
① (4/18) 1点	【到達目標】 オリエンテーション。今後の授業内容の確認、自己紹介、ファッション業界について。業界人としての必要な知識を習得し今後どのように取り組んでいくのか明確な計画と目標を持つことができる。自分の考えるオシャレとはなにか。			⑨ (6/20) 1点	【到達目標】 白いTシャツを活用したファッションコーディネート提案の柔軟な発想と積極性で時代のインフルエンサーとしてとが出来る。翌週のGPW			
② (4/25)	【到達目標】 ファッションチェックのポイントと美点凝視について学習する。ファッションチェック、美点凝視を通して、他者の良いところを見つけるプロとなる 小テスト5点			⑩ (6/27)	前週でGPした内容を発表 説得力のあるプレゼンテーションを実施できるようになる 課題適応能力を養う			
③ (5/9) 1点	【到達目標】 トレンドの流れと世界5大コレクションについて、DVD視聴と解説。流行とは何か、世界5大コレクションを学び、ファッションの業界と社会がどのような関わりを持つのか理解できるようになる。			⑪ (7/4) 1点	【到達目標】 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネート情報収集と分析を元に、求められた課題に説得力のある課題適応能力を養う			
④ (5/16) 1点	【到達目標】 ファッションコーディネート方法と提案(骨格、視覚効果について) 体型の骨格の違いと、錯視効果を取り入れたコーディネート方法を学び、他者のその人らしさのあるコーディネート提案ができるようになる			⑫ (7/11)	【到達目標】 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネートGPワーク情報収集と分析を元に、求められた課題に計画になる			
⑤ (5/23) 1点	【到達目標】 TPO、トレンド感性、体型カバーのコーディネートテクニックを学ぶ。業界人として必要な基礎知識を学び、どのようなテクニック方法があるか、情報収集し、共有することができる			⑬ (7/18) 2点	【到達目標】 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネート情報収集と分析を元に、求められた課題に説得力のあるポージングを考え、バックスクリーン前で撮影			
⑥ (5/30)	【到達目標】 条件別のファッションコーディネートをGPワークし提案、発表。指定された条件に合うコーディネート方法をGPワークし積極性、協調性、集中力をもって提案することができるようになる			⑭ (8/22) 2点	【到達目標】 定期試験に向けての準備をGPワークし、個人担当の情報収集と分析を元に、求められた課題に説得力のある			
⑦ (6/6)	【到達目標】 「着る、まとう」一枚の布から「着る、まよう」を提案。創意工夫で積極的に取り組み、発信力のある提案ができるようになる 小テスト5点			⑮ (8/29)	【定期試験】60 トータルファッションコーディネートをヘアメイク&ネイル授業で習得した知識、技法を活かした成果を100%の			
⑧ (6/13)	【到達目標】 ファッションコーディネートの着回し方法の基本(テイスト提案出来る様になる 指定されたアイテムを使用した着回しの提案をグループワークで発表出来るようになる			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)/E評価(50～59点・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ※小テストは減点法(忘れ物△1点、授業中の取り組み態度△2)				
【履修に当たっての心構え・留意点】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する				
多様性の理解と協議力を身につけ、常に学び意欲を持って積極的に取り組むこと								

講義シラバス									
科目名	ブライダルヘアメイクⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	福士・水戸 メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
ブライダル業界の知識やヘアメイク技術の基礎を身につける。									
【学習内容】									
様々な専門的な技術を学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17. 18)	【到達目標】小テスト3点 自己紹介、シラバス説明、私達の仕事、ブライダルについて詳しく学び、理解できるようになる				⑨ (6/19. 20)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、アイメイク・アイブロウ・チーク・リップを相モデルで出来るようになる (画像を模写)			
② (4/24. 25)	【到達目標】小テスト3点 会場、スケジュール、和装・洋装など、ブライダルについて調べ、理解できるようになる。デモンストレーション。				⑩ (6/26. 27)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルを意識したヘアセットができるようになる(ウィッグでダウンスタイル)			
③ (5/8.9)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、ベース作りに合わせてフルメイクができるようになる(マット肌)				⑪ (7/3.4)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルを意識し相モデルでダウンスタイルが出来るようになる			
④ (5/15. 16)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、ベース作りに合わせてフルメイクができるようになる(ツヤ肌)				⑫ (7/10. 11)	【到達目標】小テスト4点 ブライダルを意識し、相モデルでメイクが出来るようになる (画像を模写)			
⑤ (5/22. 23)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、ベース(ツヤ肌)からポイントメイクまでを相モデルで、出来るようになる(画像を模写)				⑬ (7/17. 18)	【到達目標】小テスト3点 定期試験に向けてイメージを膨らませ、カウンセリングシートを記入出来るようになる (ヘアードまで決める、夏休み)			
⑥ (5/29. 30)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、ベース(マット肌)からポイントメイクまでを相モデルで、出来るようになる(画像を模写)				⑭ (8/21. 22)	【定期試験 1組目】60点 イメージ通りにヘアメイクを仕上げ、シートの発表までを出来るようになる (ヘアード装着、ダウンスタイル指定) ※相モデル1組目 夏休み明け			
⑦ (6/5.6)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、アイメイクを相モデルで出来るようになる (画像を模写)				⑮ (8/28. 29)	【定期試験 2組目】60点 イメージ通りにヘアメイクを仕上げ、シートの発表までを出来るようになる (ヘアード装着、ダウンスタイル指定) ※相モデル2組目			
⑧ (6/12. 13)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、アイメイク・アイブロウを相モデルで出来るようになる (画像を模写)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	メイクテクニック (メイク検定)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	箱石・穴戸・森・水戸 メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
基礎のメイクの仕方と接客マナーの大切さを学び、JESCメイク検定が合格出来るようになる									
【学習内容】									
接客マナーを意識し、30分以内でナチュラルメイクを仕上げる事が出来るようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式、テキスト、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16)	【到達目標】小テスト2点 道具の名称とケア方法、身だしなみ、セッティングをし、P21までの内容を出来るようになる (P5～21、40、72)				⑨ (6/18)	【到達目標】小テスト5点 【中間チェック】事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(35分) 筆記模試			
② (4/23)	【到達目標】小テスト2点 セッティング、身だしなみを再確認し、パウダーまでを相モデルで出来るようになる (P72～75)				⑩ (6/25)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(目標30分) 筆記模試			
③ (5/7)	【到達目標】小テスト2点 事前準備からアイメイクまでを相モデルで出来るようになる (P26～31)				⑪ (7/2)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試			
④ (5/14)	【到達目標】小テスト2点 事前準備からアイブロウまでを相モデルで出来るようになる (P22～25)				⑫ (7/9)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試			
⑤ (5/21)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からチーク・リップまでを相モデルで出来るようになる (P32～39)				⑬ (7/16)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる (30分) 筆記模試(夏休み)			
⑥ (5/28)	【到達目標】小テスト3点 接客を意識し、事前準備からリップまで相モデルで出来るようになる(40分) 回りのコラージュ作成				⑭ (8/20)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試(夏休み明け)			
⑦ (6/4)	【到達目標】小テスト3点 テーマに合ったメイクを相モデルで出来るようになる ※左右対称				⑮ (8/27)	【定期試験】60点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試			
⑧ (6/11)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(40分) 筆記模試				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	アシスタントプログラム(集中)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	20 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	吉本 友美	講師 プロフィール	美容師、アイリストをを経験後、本校の美容師科美容師国家試験対策へ携わる。美容師科での勤務後、今年度HM科担当となる。						
【授業を通じての到達目標】									
○ヘアメイク業界の情報と現場に必要な知識・アシスタントとしての必要な現場の動きを身に着ける。									
【学習内容】									
○業界講話&技術									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (5/16)	【到達目標】				⑨ (1/)	【到達目標】			
	B☆side様 オンライン授業(2コマ)					ゲスト未定 (2コマ)			
② (6/20)	【到達目標】					【到達目標】			
	B☆side様 来校授業(2コマ)								
③ (6/21)	【到達目標】					【到達目標】			
	B☆side様 来校授業(4コマ)								
④ (6/28)	【到達目標】					【到達目標】			
	川上さくら様 来校授業(2コマ)								
⑤ (9/)	【到達目標】					【到達目標】			
	宮下ゆうこ様 来校授業(2コマ)								
⑥ (10/)	【到達目標】					【到達目標】			
	佐藤健司様 来校授業(2コマ)								
⑦ (11/)	【到達目標】					【定期試験】60			
	ゲスト未定 (2コマ)								
⑧ (12/)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】				
	ゲスト未定 (2コマ)				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
小テスト 1ー12→3点、13、14→2点									

講義シラバス									
科目名	アシスタントプログラムⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	藤 なつき	講師 プロフィール	札幌ベルエポック専門学校を卒業し、美容、ブライダル会社にてコーディネーターヘアメイクとして勤務。現在、フリーランスのヘアメイク。						
【授業を通じての到達目標】									
自己分析をして自分の強み、将来のビジョンを明確にしていく。									
現場実習に備えて、クライアントやお客様に対するマナー、技術を身につける。									
【学習内容】									
アシスタントとして必要な知識や技術、マインドを身につける。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具					1、事前準備 2、相モデルに合うヘアメイクを考えてくる 3、ヘアメイク作品の整理				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】 筆記用具 2点 自己紹介、自分の将来についてイメージする 自己紹介シート記入、発表				⑨ (6/19)	【到達目標】 ヘア道具、ネイル(ポリッシュ、除光液用意)、相モデル3点 3人1組で1人がヘアしている中でアシスタントとしてネイルができるようになる。			
② (4/24)	【到達目標】 筆記用具、ウィッグ、ピン、クランプ 2点 現場を想定したアシスタントワークの実践。(ヘア中心) ピンうちのアシスタントができるようになる				⑩ (6/26)	【到達目標】 ヘアメイク道具一式 3点 ブライダルの現場を想定したヘアメイクができるようになる(前髪、後れ毛)			
③ (5/8)	【到達目標】 筆記用具 3点 それぞれの現場にあわせたアシスタントの動きや身だしなみについて理解する 身だしなみを中心に考える。アシスタントにはいるときの持ち物。				⑪ (7/3)	【到達目標】 ヘアメイク道具一式 3点 ブライダルの現場を想定したヘアメイクができるようになる(かざりをつけるようになる)			
④ (5/15)	【到達目標】 メイク道具 3点 ブライダルのベースメイクと撮影の現場のベースメイクの違いを理解する (使用する化粧品などの違いを学ぶ)				⑫ (7/10)	【到達目標】 メイク道具一式 3点 現場を想定したアシスタントワークの実践(メイク中心) ベースメイク、手直しができるようになる			
⑤ (5/22)	【到達目標】 ヘア道具、ウィッグ 3点 バリエーションをふやす(簡単にできるヘアセットを覚える)				⑬ (7/17)	【到達目標】 メイク道具一式 3点 現場を想定したアシスタントワークの実践(メイク中心) リップメイク、手直しができるようになる			
⑥ (5/29)	【到達目標】 ヘア道具 3点 トのバリエーションをふやす(簡単にできるヘアセットを覚える)				⑭ (8/21)	【到達目標】 筆記用具 3点 自分の強みについて考える(グループワーク) ハキハキと元気にアシスタントらしくふるまえるようになる。(定期試験準備)			
⑦ (6/5)	【到達目標】 ヘア道具 3点 現場を想定したアシスタントワークの実践。(ヘア中心) 先週学んだことを実践しヘアセットをする				⑮ (8/28)	【定期試験】60 1分間スピーチ、みんなの前で発表 人前でしっかりと話せるようになる			
⑧ (6/12)	【到達目標】3点 現場を想定したアシスタントワークの実践。(ストレートアイロンの使い方)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
* 学校の企画や、イベントにより授業内容変わりますのでしっかりと内容確認してください。									

講義シラバス									
科目名	フォトシューティング	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	石川紗織	講師 プロフィール	三景スタジオ退社後、フリーランスのヘアメイクに転向。 現在は、冠婚葬祭、広告など様々なジャンルのヘアメイクを担当。						
【授業を通じての到達目標】									
思い描いた作品を形にすることが出来る。									
【学習内容】									
ヘアメイクとして撮影に入る際の基礎を学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘア・メイク道具一式・筆記用具・色鉛筆					様々なジャンルの雑誌を読む 定期的な宿題提出				
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (4/17) (4/18)	【到達目標】 スチール撮影とは、どんな仕事なのかを理解する。			⑨ (6/19) (6/20)	【到達目標】 ロケーション撮影を理解する。				
② (4/24) (4/25)	【到達目標】 肌を綺麗に作れる。前髪の色々なアレンジを理解する。			⑩ (6/26) (6/27)	【到達目標】 様々な撮影を理解する。				
③ (5/8) (5/9)	【到達目標】 ライトに映えるアイメイクが作れる。浮き毛のない一束スタイルを作ることが出来る。			⑪ (7/3) (7/4)	【到達目標】 様々な撮影を理解する。				
④ (5/15) (5/16)	【到達目標】 リップが主役のメイクを作ることが出来る。一束アレンジのパターンを理解する。			⑫ (7/10) (7/11)	【到達目標】 スタジオ撮影を理解する。				
⑤ (5/22) (5/23)	【到達目標】 次週からの作品作りに向けて、詳細を決める。 撮影する時にヘアメイクが用意する書類を理解し、準備することが出来る。			⑬ (7/17) (7/18)	【到達目標】 スタジオ撮影を理解する。				
⑥ (5/29) (5/30)	【到達目標】 相モデルで作品を作る(トレーニング)			⑭ (8/21) (8/22)	【定期試験】60 モデルの良さを活かしたヘアメイクを即興で作ることが出来る				
⑦ (6/5) (6/6)	【到達目標】 相モデルで作品を作る(撮影した作品を提出)			⑮ (8/28) (8/29)	【定期試験】60 作った作品を振り返る。より良くするための方法を考える。				
⑧ (6/12) (6/13)	【到達目標】 作った作品を振り返る。より良くするための方法を考える。			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導									